内容解説資料

光村図書「書Ⅱ」 年間指導計画資料 38｜光村｜書Ⅱ｜038-901

本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた
「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
巻頭					
適宜	適宜	**巻頭** ［教科書 表 2］	A(表現) B(鑑賞) 全て 共通ア・イ	① 書を題材にした小説から引用した一文を読み、書で表現することの魅力や書の可能性、表現の喜びなどを感じ取るとともに、これからの学習への関心・意欲を高める。 ② 高校生による書道パフォーマンスの写真を見て、日本の書道文化を世界に発信する取り組みについて知る。	⑴・「書道Ⅰ」で学習した書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法について理解を深める。 ・漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史について理解する。 ⑶・芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
4 月	**書Ⅱスタートガイド**				
	1	**書Ⅱでは何を学ぶの？** ［教科書 P.2］	A(表現) B(鑑賞) 全て 共通ア・イ	① 「書道Ⅱ」では、「書道Ⅰ」での学習を基盤にして、漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の三分野を学び、表現の幅を広げながら自分らしい表現を追求することを理解する。	
		どのように学ぶの？ ［教科書 P.3］		① 「書道Ⅱ」でも、「書道Ⅰ」と同様、臨書・鑑賞・創作の学習を通してさまざまな書の美にふれ、自己の創造的な表現に生かすことを確かめる。 ② 創作の 3 ステップ（考える・書く・話す）を確認する。	
		書の特色と歴史 ［教科書 P.6］		① 漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の成立と、その歴史的経緯について理解する。 ② それぞれの書の特色を捉え、それらが社会や文化に与える影響や、現代の書の特色について理解する。	
1 漢字の書					
4 月	**はじめに**				
	1	**個性豊かな漢字の姿** ［教科書 P.8-9］	B 全て 共通ア・イ	① 漢字の五書体の成立過程と、その歴史的背景を理解し、それぞれの書体の豊かな個性を感じ取る。 ② 教科書 P. 9 の漫画を読み、始皇帝の文字統一について知る。	⑴・各書体の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ⑵・漢字の古典の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
		漢字の書体を比べよう ［教科書 P.10-11］		① 篆書・隷書・草書・楷書で書かれた漢字（「言」）を比較し、それぞれの書体の特徴を捉える。 ② 身の回りにある文字には、さまざまな書体が使われていることを理解する。	
	文字の造形を学ぶ〈篆書〉				
	6	**篆書を学ぼう** ［教科書 P.12-13］	A(2) ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア・イ	① 篆書が、甲骨文、金文、大篆、小篆へと変化する過程や、それぞれの特徴を理解する。 ② 「書道Ⅰ」での学習を振り返り、篆書の主な特徴や、基本点画の書き方を確認する。	※教科書 P. 12-19 ⑴・漢字の書を構成するさまざまな要素や、篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・篆書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
5 月		**泰山刻石** ［教科書 P.14-17］		① 教科書 P. 14-15「泰山刻石」を鑑賞し、一定した縦横の比率や厳格な左右相称の構え、均一な線の太さなどがもたらす洗練された書風を感じ取る。 ② 「泰山刻石」が作られた経緯や書風、内容と大意、公式書体としての小篆について理解する。 ③ 教科書 P. 17「目標」を理解し、篆書の他の古典（「甲骨文」や「石鼓文」）と比較しながら、篆書（小篆）の用筆や字形の特徴を確認する。 ④ 教科書 P. 13 の基本点画を繰り返し書き、蔵鋒や中鋒など、特徴的な用筆・運筆を習得する。 ⑤ ③④で確認した用筆や字形を意識して臨書する。	を身につける。 ⑵・篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・篆書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
		[コラム]何が書いてある？ ［教科書 P.18-19］	B イ(イ)(ウ)(エ) 共通ア･イ	① 書き残されてきた文字の具体的な例を見て、長い歴史の中で文字が何のために記されてきたのか考える。 ② 現代を生きる私たちにとっての「書くことの意味」についてグループで話し合う。	
	文字の造形を学ぶ〈隷書〉				
	5	**隷書を学ぼう** ［教科書 P.20-21］	A(2) ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア･イ	① 書かれた時代や書き手によってさまざまな個性が見られる隷書の、それぞれの特徴を理解する。 ② 「書道Ⅰ」での学習を振り返り、隷書（八分）の主な特徴や、基本点画の書き方を確認する。	※教科書 P. 20-25 ⑴・漢字の書を構成するさまざまな要素や、隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・隷書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。 ⑵・隷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・隷書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
6 月		**乙瑛碑** ［教科書 P.22-25］		① 教科書 P. 22-23「乙瑛碑」を鑑賞し、安定感のある文字の構えや、波磔など特有の用筆による力強く堂々とした書風を感じ取る。 ② 「乙瑛碑」が作られた経緯や書風、内容と大意を理解する。 ③ 教科書 P. 25「目標」を理解し、楷書の古典（「九成宮醴泉銘」）と比較しながら、波磔や水平な横画など、隷書の用筆や字形の特徴を確認する。 ④ 教科書 P. 21 の基本点画を繰り返し書き、蔵鋒や中鋒、波磔など特徴的な用筆・運筆を習得する。 ⑤ ③④で確認した用筆や字形を意識して臨書する。	
	草書				
	6	**十七帖** ［教科書 P.26-29］	A(2) ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア･イ	① 教科書 P. 26-27「十七帖」を鑑賞し、柔らかく穏やかで格調高い書風を感じ取る。 ② 「書道Ⅰ」での学習を振り返り、草書の主な特徴を確認する。 ③ 「十七帖」が作られた経緯や書風、内容と大意を理解する。 ④ 教科書 P. 29「目標」を理解し、行書の古典（「蘭亭序」）と比較しながら、点画の連続や省略、柔らかさなど、草書の用筆や字形の特徴を確認する。 ⑤ 「草書の書き方（例）」を見て、草書の字	※教科書 P. 26-33 ⑴・漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・草書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
				形には一定の法則があることを知る。 ⑥ ④で確認した用筆や字形を意識して臨書する。	を身につける。 ⑵・草書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・草書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
7月		**書譜** **自叙帖** ［教科書 P.30-31］		① 「書譜」と「自叙帖」を比較・鑑賞し、草書の多彩な表現を感じ取る。 ② 「書譜」「自叙帖」の概要や、書かれている内容を理解する。 ③ 「書譜」「自叙帖」の、文字の大きさや線の太さ、墨の潤渇などの変化に富む書風を鑑賞し、作品の特徴を理解する。 ④ 「書譜」「自叙帖」の線質、字形、全体構成の違いを理解する。 ⑤ 書風に即した用筆・運筆を意識して、臨書する。	
		[コラム]名品になった詫び状 ［教科書 P.32-33］	B ア(ア)(イ) イ(ア) (イ)(エ) 共通ア・イ	① 教科書 P.33 の漫画を読み、藤原佐理の人となりや三跡の活躍した時代背景を知り、詫び状が名品として認められ、大切に保管されてきた背景を理解する。 ② 藤原佐理の詫び状「恩命帖」と「離洛帖」を鑑賞し、それらに表れた藤原佐理の人間味を味わう。	
	文字の造形を学ぶ〈行書〉				
	6	**集王聖教序** **温泉銘** **伊都内親王願文** **祭姪文稿** ［教科書 P.34-39］	A(2) ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア・イ	① 教科書 P.34-35「集王聖教序」を鑑賞し、王羲之の書風の普遍的な魅力を感じ取り、作品の特徴を理解する。 ② 「集王聖教序」が作られた経緯や書風、内容と大意を理解する。 ③ 「書道Ⅰ」での学習を振り返り、行書の主な特徴を確認する。 ④ 教科書 P.36-39「温泉銘」「伊都内親王願文」「祭姪文稿」を比較・鑑賞し、行書の多彩な表現を感じ取る。 ⑤ それぞれの作品が作られた経緯や書風、内容と大意を理解する。 ⑥ 書風に即した用筆・運筆を意識して、臨書する。	※教科書 P.34-41 ⑴・漢字の書を構成するさまざまな要素や、行書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・行書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。 ⑵・行書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・行書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
9月		**[コラム]北宋の三大家と個性の表現** ［教科書 P.40-41］		① 教科書 P.41 の漫画を読み、蘇軾、黄庭堅、米芾が活躍した時代背景や、三人の書道史における位置付けを知り、表現の特色を理解する。 ② 北宋の三大家の作品を鑑賞し、自由闊達で個性豊かな表現を感じ取る。	

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
9 月	**文字の造形を学ぶ〈楷書〉**				
	4	**皇甫誕碑** **始平公造像記** **張猛龍碑** **孟法師碑** **楽毅論** ［教科書 P.42-47］	A(2) ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) **共通ア･イ**	① 教科書 P. 42-43「皇甫誕碑」を鑑賞し、強調された背勢や厳しい用筆による峻険な書風を感じ取る。 ② 「皇甫誕碑」が作られた経緯や書風、内容と大意を理解する。 ③ 「書道Ⅰ」での学習を振り返り、楷書の用筆と字形を確認する。 ④ 教科書 P. 44-47「始平公造像記」「張猛龍碑」「孟法師碑」「楽毅論」を比較・鑑賞し、楷書の多彩な表現を感じ取る。 ⑤ それぞれの作品が作られた経緯や書風、内容と大意を理解する。 ⑥ 書風に即した用筆・運筆を意識して、臨書する。	※教科書 P. 42-47 ⑴・漢字の書を構成するさまざまな要素や、楷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・楷書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。 ⑵・楷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・楷書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
10 月	**創作する**				
	5	**近現代の書を味わおう** ［教科書 P.48-49］	A(2) ア(ア)(イ) イ(ア) ウ(ア)(イ) B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) **共通ア･イ**	① 近現代の作品を鑑賞し、「筆者が参考にしたと思われる古典」「線質、余白や空間性、表現・構成の効果」「筆者が表現しようとする美と、それを支えている要素」などをグループで話し合う。	※教科書 P. 48-52 ⑴・漢字の書を構成するさまざまな要素や、漢字の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・漢字の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につける。 ⑵・表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 ・作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
		〈創作のヒント〉書体 ［教科書 P.50-51］		① 一人の筆者による、さまざまな書体で書かれた書を鑑賞し、書体による印象の違いを捉える。 ② 教科書 P. 50-51 に掲載の書の中で最も惹かれるものを選び、その理由についてグループで話し合う。 ③ 書体の選択による表現の違いを理解し、創作につなげる。	
		座右の銘を書こう ［教科書 P.52］		① 教科書 P. 3「創作の 3 ステップ」を確認し、創作の手順を理解する。 ② 書く言葉（座右の銘）を決め、表現のイメージをもつ。 ③ これまでに学んだ古典を参考にしながら作品の構想を練り、書体や書風、用具・用材、全体構成を考える。 ④ 試作を重ね、表現を工夫する。 ⑤ 落款を入れ、作品を仕上げる。 ⑥ 作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。	

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
2 仮名の書					
10 月	**はじめに**				
	2	**古筆の特徴** ［教科書 P.54-55］	A(3) ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア･イ	① 教科書 P.54 を見て、「書道Ⅰ」での学習を振り返り、古筆の特徴を確かめる。 ② 教科書 P.55 の「高野切第三種」「関戸本古今和歌集」「本阿弥切本古今和歌集」を鑑賞し、掲出部分に表れている古筆の特徴を探し、グループで話し合う。	※教科書 P.54-67 ⑴・仮名の書を構成するさまざまな要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につける。 ⑵・仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・仮名の古筆の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
11 月	**文字の造形を学ぶ**				
	6	**高野切第一種** ［教科書 P.56-59］	A(3) ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア･イ	① 教科書 P.56-57「高野切第一種」を鑑賞し、墨継ぎや連綿による表現の美を感じ取る。 ② 教科書 P.58「目標」を理解する。 ③ 「高野切」の伝来と「第一種」「第二種」「第三種」の意味、和歌の内容と大意、書風について理解する。 ④ 墨継ぎがされている場所を確認し、その効果を理解する。 ⑤ 短冊の伝統的な書式を知る。 ⑥ 墨継ぎや連綿を意識して、臨書する。	
		平仮名･変体仮名 ［教科書 P.60-61］		① さまざまな平仮名と変体仮名の書き方を習得する。	
	構成を学ぶ				
	2	**継色紙** ［教科書 P.62-63］	A(3) ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) B ア(ア) (イ) イ(ア) (イ)(エ) 共通ア･イ	① 教科書 P.62-63「継色紙」を鑑賞し、空間による構成の美を感じ取る。絵画「松林図屏風」と見比べながら鑑賞することで、日本文化における「間」の美意識について理解する。 ② 「三色紙」について確かめる。 ③ 教科書 P.63「目標」を理解する。 ④ 「継色紙」の伝来や、和歌の内容と大意、書風や料紙について理解する。 ⑤ 行や文字群の構成、空間を意識して臨書する。	
12 月	2	**自然を生かした紙面構成** **元永本古今和歌集** ［教科書 P.64-65］		① 「元永本古今和歌集」を鑑賞し、雁行や藤棚に見立てた散らし書きの構成美を感じ取る。 ② 表現形式に応じた紙面構成の特徴を理解して、臨書する。	
	2	**香紙切** **針切** ［教科書 P.66-67］		① 「香紙切」「針切」を鑑賞し、比較を通して古筆の多彩な表現効果を感じ取る。 ② 「香紙切」の大胆な連綿や線の太細、疎密の変化などの特色を理解する。 ③ 「針切」の細く鋭い線質、多字数にわたる連綿などの特色を理解する。 ④ 「香紙切」「針切」の伝来や、和歌の内容と大意、書風や料紙について理解する。 ⑤ 書風に即した用筆・運筆を意識して、臨書する。	

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
1月	**創作する**				［5ページ 参照］
	6	**〈創作のヒント〉用具・用材** ［教科書 P.68-69］	A(3) ア(ア)(イ) イ(ア) ウ(ア)(イ) B ア(ア) (イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア・イ	① 一人の筆者による多彩な作品を鑑賞し、用具・用材や、墨の濃淡・潤渇による表現の違いを捉える。 ② 用具・用材による表現の違いを理解し、創作につなげる。	
		百人一首を書こう ［教科書P.70］		① 教科書 P.3「創作の 3 ステップ」を確認し、創作の手順を理解する。 ② 百人一首から好きな一首を選び、表現のイメージをもつ。 ③ これまでに学んだ古筆を参考にしながら作品の構想を練り、表現の意図や形式に応じて、連綿と墨継ぎ、平仮名と変体仮名との組み合わせ、用具・用材、紙面構成などを考える。 ④ 試作を重ね、表現を工夫する。 ⑤ 落款を入れ、作品を仕上げる。 ⑥ 作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。	

3 漢字仮名交じりの書					
1月	**はじめに**				
	3	**風景を書で表現する** ［教科書 P.72-75］	A(1)全て B ア(ア) (イ) イ(ア)(エ) 共通ア・イ	① 教科書 P.72-75 の作品を鑑賞し、それぞれの作品から受ける印象や、作品に表現された風景について想像したことを、グループで話し合う。 ② 受けた印象や想像した風景が、どのような表現の工夫によるものか、紙面構成や用具・用材などの観点から確認する。 ③ 著作権について確認する。	⑴・漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につける。 ⑵・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫する。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
2月 3月		**直筆で名作を味わおう** ［教科書 P.76-77］		① 文士の直筆を鑑賞し、受ける印象や筆記具、書体の違いなどの観点で、グループで話し合う。 ② 掲出作品や筆者の人物像について理解を深めたうえで、書きぶりや推敲の跡などに表れた筆者の個性を感じ取る。	
	創作する				
	4	**古典の書風を生かそう** ［教科書 P.78-79］	A(1)全て B全て 共通ア・イ	① 教科書 P.78-79 の作品を鑑賞し、「松風閣詩巻」「草書諸上座帖巻」「居延漢簡」それぞれの古典が生かされた書風や、漢字と仮名の調和、構成などを分析する。 ② 教科書 P.3「創作の 3 ステップ」を確認し、創作の手順を理解する。 ③ それぞれの表現のよさを味わうとともに、表現効果と参考古典の関係を意識しながら構想を練り、創作する。	
		〈創作のヒント〉言葉 ［教科書 P.80-81］		①一人の作者による「海」をテーマにした多様な表現の作品を鑑賞し、同じテーマでも、表現する言葉や紙面構成の工夫などによって作品が大きく変化することを理解する。 ② それぞれの作品の言葉や表現の工夫によって、どのような海が想像できるか考え、グループで話し合う。	

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
2 月 3 月	3	**思い出を表現しよう** ［教科書 P.82-83］	A(1)全て B 全て 共通ア・イ	① 教科書 P.3「創作の 3 ステップ」を確認し、創作の手順を理解する。 ② 書と写真を効果的に組み合わせて、学校生活での思い出を表現するポスターを制作する。 ③ 作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。	［6 ページ 参照］
		ふるさとを表現しよう ［教科書 P.84］		① 書と写真を効果的に組み合わせて、郷土を書で表現し魅力をＰＲするポスターを制作する。 ② 作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。	

4 篆刻・刻字／書道史					
2 月 3 月	1	**篆刻に挑戦する** **さまざまな書体で見る姓名印** ［教科書 P.86-87］	B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア・イ	① 教科書 P.86 の印に魅了された文豪・夏目漱石の例を理解し、印に関心をもつ。 ② 歴史の中で印が担ってきた役割を知る。 ③ 教科書 P.87 のさまざまな書体による姓名印を鑑賞し、用いる書体による印象の違いをグループで話し合う。	⑴・篆刻や刻字を構成するさまざまな要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につける。 ⑵・篆刻や刻字の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 ・作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 ⑶・主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
	3	**＜篆刻＞姓名印を刻してみよう** ［教科書 P.88-89］	A 全て B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア・イ	① 朱文印の制作手順を理解する。 ② 書体や書風、配字による表現の効果を理解して、感興や意図に応じて構想を練る。 ③ 仕上がりをイメージして、表現や構成を工夫する。 ④ 制作した作品を相互に批評し、表現や構成についてよい点を発表する。	
		＜刻字＞表札を彫ってみよう ［教科書 P.90-91］	A 全て B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア・イ	① 陽刻の制作手順を理解する。 ② 書体や書風、構成、刻し方、彩色による表現の効果を理解して、感興や意図に応じて構想を練る。 ③ 仕上がりをイメージして、表現や構成を工夫する。 ④ 制作した作品を相互に批評し、表現や構成についてよい点を発表する。	
適宜	適宜	**書道史略年表** ［教科書 P.92-95］	B 全て	①「書道Ⅱ」で学習した書体や古典について、それらが成立した時代や文化的背景、成立に至る流れなどを確認する。	⑴・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ⑵・漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・芸術科書道への関心・意欲を高め、主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。
		書に携わる人 ［教科書 P.96-97］		① さまざまな形での書への携わり方を知り、社会と書の関わりや自身のキャリアについて考える。	
2 月 3 月	**巻末折込**				
	2	**三色紙** ［教科書 P.98-100］	B ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 共通ア・イ	① 三色紙の比較・鑑賞を通して、散らし書きなどの構成方法や表現効果について理解する。 ② 連綿の美と余白の美の相乗効果について鑑賞し、理解を深める。	
		王羲之の書 ［教科書 P.101-103］		① 王羲之の書の比較・鑑賞を通して、楷書、行書、草書の各書体に精通した表現の多彩さを感じ取る。 ② 各作品が作られた経緯や所蔵の履歴に触れ、王羲之の足跡について理解する。	